

第46回墨東五区バスケットボール大会  
7/12（日）足立区総合スポーツセンター  
足立区 対 葛飾区 戦評

墨東五区大会の初日。今大会すべてのチームがダブルヘッダとなる。  
第一試合の相手は葛飾区。序盤から足立区の堅い守りに葛飾区が  
攻め手を欠き、終始リードを保ったまま足立区が大差で勝利した。

第1ピリオド、どちらもマンツーマンディフェンスだが今大会足立区の守りが良い。  
15-2という点差になったところで葛飾区は止む無くタイムアウト。タイムアウト明け  
に葛飾区はシューター#8のスリーポイントが決まるが、24秒のヴァイオレーション  
があり攻めきれない。足立区#4がスリーポイントを返して21-12で第1ピリオド終了。

第2ピリオド、足立区は#16の連続レイアップや#20のインサイドで短時間に二人だけ  
で10得点を重ねる。葛飾区は#8のスリーポイントとフリースローで一人だけで得点す  
る。特筆すべきは足立区がこのピリオドを5点のみで抑えたこと。前半42-17で折  
り返す。

第3ピリオド、足立区は後半に入っても守備力が衰えない。葛飾区は3分過ぎに後半  
の初得点があったが、足立区#15と#5のスティールに阻まれる。  
オフェンスでは#13のインサイドも強く、代わって入った#6のミドルシュートが連続  
で決まる。葛飾区は2度目の24秒ヴァイオレーションで流れも掴めない。  
67-31のダブルスコアのまま最終ピリオドへ。

第4ピリオド、葛飾区は#8のレイアップなどで得点するが5分間で2ゴールと厳しい。  
残り4分を切ったところで、足立区がタイムアウト。葛飾区は控え選手をすべて投入  
し、  
葛飾区#6のスリーポイント、#14のインサイドの得点で一矢報いる。  
しかし、足立区#14がファールを受けた後にフリースローを2本とも決めて  
流れは足立区のまま。最後の得点は葛飾区#5だったが、ホームコートの足立区が81-  
46で快勝した。